

▶▶▶ 福祉教育を推進しています! ◀◀◀

今年度も、鶴見区社会福祉協議会では、福祉のまちづくりを目指して、鶴見区内の小中学校、高等学校、地域等と一緒に福祉教育を実施しています。

その中でも、今回は、みどり小学校での車いす体験と鶴見商業高校の取り組みを紹介します。

みどり小学校

平成23年11月30日(水)にみどり小学校の4年生を対象に車いす体験を実施しました。

車いすの運搬には、大阪市ボランティア情報センターが実施する「こむりんく」を活用し、住友不動産株式会社にご協力いただきました。

2時間目に、車いすや車いすに乗っている人について学習した後、3~4時間目にクラスごとに校内で車いす体験を実施しました。体験をした子どもたちからは「車いすに乗っている時に、友達が声をかけてくれたので安心できた」「狭い道に自転車やものを置かないようにしたい」といった声が聞かれました。



車いす運搬の様子

車いす体験の様子

鶴見商業高校

鶴見商業高校では、今年度より、総合学習のチャレンジ講座の1つとして「福祉」の講座を開講されました。全7回の講座では、視覚や肢体等の様々な障がいをもっておられる方からその方の思いや生き方のお話を聞いたり、認知症サポーター養成講座を実施して認知症について学んだり、社会福祉施設の職員の話を聞いたりしました。また、講座の4回目では、機能訓練事業の修了生で結成されたつるみ会の方々と一緒にふうせんバレーとフライングディスクを楽しみました。受講された生徒さんたちからは、「障がい者を「障がい者」という枠組みで考えるのをやめようと思った」「限られた時間の中で、自分のため、誰かのために頑張ろうと思った」「人と関わる仕事に就きたいと思った」などといった声が聞かれました。



災害は突然に... その時あなたは?

鶴見区社協では、災害時に向けた様々な取り組みを進めています

平成24年1月14日(土)に今津小学校で開催された「2012地域防災フェスタinつるみ」に鶴見区社協も参加し、災害対応ゲーム「クロスロード」と福祉避難所をイメージした「段ボールベッド製作」及び「紙おむつ吸水量の実験」を行いました。



子どもから高齢者まで様々な方が体験し、災害について考える機会となりました。

また、昨年10月には榎本地域での防災訓練、そして11月には茨田西地域での防災訓練にも区社協として参加し、多くの方に同じような体験をしていただきました。

災害時への備えは日頃からの意識が大切です。身の回りのことから、継続して取り組んでいきましょう。

アクションプラン子ども部会では、「児童虐待の勉強会」を開催しています

昨年度の今津地域に引き続き、平成23年10月21日(金)午後7時~9時に茨田西地域で開催しました。PTAや地域振興会、民生委員・児童委員等41人の参加がありました。グループで児童虐待について話し合い、みんなで児童虐待についての理解を深めました。その後、講師にNPO法人児童虐待防止協会の藤本勝彦先生をお迎えして「子ども虐待を理解する」というテーマで、ご自身の今までの経験をもとに、児童虐待が子どもに与える影響や児童虐待を防止していくためにどうすればいいかということ等をご講演いただきました。

「虐待について知らないことがたくさんあり、すごくためになった」「自分自身も子育てについて考えることができた」「しつけと虐待は難しい」「地域で助け合うことが大切」等の感想を参加者から聞くことができました。



東日本大震災・台風12号 チャリティーコンサートを開催しました!



平成23年12月8日(木)に関西のJAZZ界を代表する「ゴールデン・シニア・トリオ」による「東日本大震災・台風12号チャリティーコンサート」を鶴見区民センター大ホールで開催しました。

ロマンスグレーのダンディーな3人が心地よい演奏で鶴見区から元気を発信し、素晴らしいコンサートとなりました。ご協力どうもありがとうございました。

【チャリティー義援金】 総額123,820円

皆さまからいただきました心あたたまる義援金は、1月10日に産経新聞「厚生文化事業団」へ寄付いたしました。

平成24年度 地域福祉推進団体 助成事業実施要綱

区内において社会的に援護を必要とする方を対象に、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、活動している地域福祉推進団体が実施する事業を助成します。

申請対象 前述した目的にあった事業実施経費のうち助成対象となる経費を対象とする。

申請時期 4月2日~4月28日

交付金額 1事業5万円を上限とする。

申請・問合せ先 鶴見区社会福祉協議会 (郵送は不可です。) ☎06-6913-7070

助成対象経費の内容、申請方法、添付書類等の詳細についてはお問い合わせください。



「区民で支えよう認知症」の講演会に参加しました

平成23年11月12日(土)、鶴見区民センター小ホールで、第一部は大阪市立大学院医学研究科 老年内科学 三木隆巳教授による「認知症かなと思ったら...」のテーマでご講演いただきました。家族が認知症になったとき、また、自分のもの忘れにびっくりした時どうすればよいかなど興味深いお話でした。

第二部は鶴見区での認知症の現状説明をし、鶴見区の医師会・地域包括支援センターをはじめ各介護事業所が参加して模擬サービス担当者会議を実演しました。

ご参加いただいた区民の方には、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活するにはお互いの支え合いが大切ということを認識されたのではないかと思います。

ご参加ありがとうございました。



ペットボトルキャップ の回収をしています

ゴミとして焼却されるとキャップ400個で3,150gのCO₂が発生します。

回収されると資源のリサイクルとして役立ち、また環境保護にもなります。

キャップ800個で
子ども1人分のワクチンが
ユニセフ等から必要な国に届きます。

- 当区社協で回収しているのは、飲料用ペットボトルキャップのみです。
- キャップは、洗って乾かしてから出してください。
- シール(値札・キャンペーンシール等)は、取り除いてください。



鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぴ」

●●ありがとうございました●●
みなさまのご協力で、キャップを多数回収しました。

- エコキャップ搬出量.....565,600個
- ポリオワクチン.....707人分
- CO₂削減.....4,454kg

(平成24年1月末現在)